



第43回評議員会で挨拶する伊津理事長 = 5月19日、保険医会館

07・08年度の方針を決定 診療報酬引き上げと患者負担軽減を重視

協会は5月19日に開いた第43回評議員会と27日に開いた第48回定期総会で、社会保障拡充、診療報酬引き上げと患者負担軽減などをめざす07・08年度活動方針と重点課題、07年度予算などを決定、理事、監事ら役員を選出した。評議員会では、「国民投票法の成立に厳しく抗議し憲法9条、25条の改憲は許さない」、「個別指導の改善」と指導医療官の綱紀粛正をもとめる決議の2決議を採択した。定期総会では京都大学名誉教授の大島清先生を講師に「豊かな脳を育てる食脳学」の記念講演があった。総会記念レセプションには川条志嘉衆議院議員(自民)、小谷みずす大阪府議(共産)、高本英司医科協合理事長、川崎美栄子保団連副会長らが来賓の挨拶をした。岡邦基大阪府歯科医師会会長、大阪府歯科技工士会、大阪府歯科衛生士会からはメッセージ・祝電が寄せられた。

第3回臨時理事会

理事長に伊津氏を選出

協会は5月27日の総会後、第3回臨時理事会を開き、理事長として伊津進弘氏(現)が理事の互選により選出された。任期は2年で、伊津氏は4期目の就任になる。

伊津進弘理事長は、評議員会・総会の挨拶で、国民の相対的貧困率は世界2位、生活保護世帯が急増、中高年の経済的困窮、病気を原因とする自殺者が年間3万人を超えているなど格差と貧困が国民の中に浸透している深刻な状況を述べたうえで、戦争をよとすると

大阪府の状況について、無駄な大型公共事業と同和利権の温存などのため府民の生活や医療・福祉は悪化をたどっていることを、完全失業率全国2位、生活保護受給者割合全国2位、就学援助は全国の3倍などを示して説明した。

歯科医院経営では、日歯青中会調査によると20年度年間総収入は684万円、所得は494万円も減少している。厚労省調査でも昨年の診療報酬改定による医療費減少の影響が大きく、大きな不安をもたらし、多くの患者、開業医が自己犠牲を迫られている。これらの打開に向け診療報酬

政府の動きにふれ、医療人として社会保障を守る使命があり、お互いが協力して助け合っていく社会を構築し、社会保障を守る立場からも戦争は阻止しなければならぬと訴えた。

大阪府の状況について、無駄な大型公共事業と同和利権の温存などのため府民の生活や医療・福祉は悪化をたどっていることを、完全失業率全国2位、生活保護受給者割合全国2位、就学援助は全国の3倍などを示して説明した。

歯科医院経営では、日歯青中会調査によると20年度年間総収入は684万円、所得は494万円も減少している。厚労省調査でも昨年の診療報酬改定による医療費減少の影響が大きく、大きな不安をもたらし、多くの患者、開業医が自己犠牲を迫られている。これらの打開に向け診療報酬

体系、歯科医療体系改善の提案をしていくことを表明した。

また、地域に住む住民が安心して生活できる地域づくりを基盤とする国づくり地域づくりが大切であり、住民の声を結集して地域から社会保障充実を実現するよう努力したいと、協会の重点課題を紹介した。

保険医会館で開いた通常評議員会には選出評議員70人のうち36人が出席、議長に近藤三千雄評議員(大阪市西部地区)、副議長に新宅雅文評議員(南河内地区)と松倉晴明評議員(北河内地区)を選出した。選出された正副議長の任期は2年で、総会議長も務める。

評議員会では第1号議案「05・06年度活動のまとめ、情勢、07・08年度活動方針・重点課題案」、第2号議案「06年度決算報告案」、同監査報告、第3号議案「06年度収支差額処理案」、第4号議案「07年度予算案」

医療安全管理
7月から完全義務化
対応説明会開催へ
6月23日(土)M&Dホール
社保研究部

医療法の改正にともない「医療の安全管理」が義務付けられた。すでに4月1日から「医療安全

差額処理案」、第4号議案「07年度予算案」、第5号議案「07・08年度理事、監事選出の件」を審議のうえ、すべての議案が出席全評議員の賛成で採択された。選出された理事は22人、監事は2人。大阪市内のホテルで開いた定期総会には会員45人が出席、近藤議長と新宅副議長が議長団を務め、第1号議案「05・06年度活動のまとめ、情勢、07・08年度活動方針・重点課題案」、第2号議案「06年度決算報告案」、同監査報告、第3号議案「06年度収支差額処理案」、第4号議案「07年度予算案」

序を反しないように自由を享受し」と、国の利益につながる公益や、公の秩序のほが上で、その下には国民の自由や権利はない、ことになっている。

「責任感」を持って義務を課し、その後ではじめて自由や福祉が出てくる。

同9条の2は「我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保する

案」、第5号議案「事務局長、名誉役員承認を求め件」を審議のうえ、すべての議案が全員の賛成で採択された。

レセオンライン請求
義務化反対署名
至急ファクスでご返信ください
協会FAX 06-6568-0564

4月末から取り組んだ署名には、約1カ月で3割の会員から署名が寄せられています。協会は14日の国会要請行動に向けて、会員5割の協力を呼びかけます。(寄せられた声は2面に一部掲載)

金と言えは借金のこと、患者にとって公共施設である多忙な開業医にとって見栄を張らねばならない仲間付き合いも大変だ。

だが、大多数の高齢者はそれほどでもない。多忙さは仕事探しの懸命な人にも、同情よりも羨望の種である。

効率と生産性を至上価値とする現在の勝ち組会社の中で、仕事に恵まれない人が生きて行くのは大変だが、病苦に悩む人やその家族はそれ以上だろ。

高齡社会を生きたために必要な3要件として、①マネー②ひま③仲間——の3つの「ま」を挙げている人がいる。

介護保険制度の目的の一つは老老介護の軽減だったが、現在の医療情勢は貧乏扶助である。だが、優しさだけではやっていけない。

憲法は国家に歯止めをかけるものであり、改憲論議が政治家の側から出てくるのか、国民の側から改憲の論議が出てくるのかで180度意味が違ってくる。

改憲論議が政治家から出るというのは、自分たちがより自由になりた

いことは、作用反作用で国民はより不自由になる。安倍首相は、憲法をどのように変えようとしているのか。自民党が05年発表した憲法草案を見ると、前文では、「日本国

民は、帰属する国や社会を愛情と責任感と気概をもって自ら支え守る責務を共有し、自由かつ公正で活力ある社会の発展や国民福祉の充実を図り

ため」と国の平和、独立、安全の次に国民の安全が付け足して出ている。

草案12条では「自由及び権利には責任及び義務が伴うことを自覚しつつ、常に公益及び公の秩

護憲
論じる前に
目からウロコの憲法のお話 ②
伊藤 真 (伊藤塾塾長)

自民草案 国家の利益が優先
下に位置付け 国民の自由と権利

自民党憲法草案
(前文抜粋)
…日本国民は、帰属する国や社会を愛情と責任感と気概を持って自ら支え守る責務を共有し、自由かつ公正で活力ある社会の発展と国民福祉の充実を図り、教育の振興と文化の創造及び地方自治の発展を重視する。…
(9条の2)
我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮権者とする自衛軍を保持する。
(12条)
…国民は自由及び権利には責任及び義務が伴うことを自覚しつつ、常に公益及び公の秩序を反しないように自由を享受し…

この高失業率の時代にまだ十分な能力と善意がある医者が、引退や廃業をして医師不足を惹起している現実には複雑な社会矛盾の現れで、座視できない課題である。

歯界
高齡社会を生きたために必要な3要件として、①マネー②ひま③仲間——の3つの「ま」を挙げている人がいる。